校区意見交換会
分科会；会長(仲間づくり)

地域の仲間を増やす『誘い手』を考える

人と地域をつなぐ“きっかけ”に注目



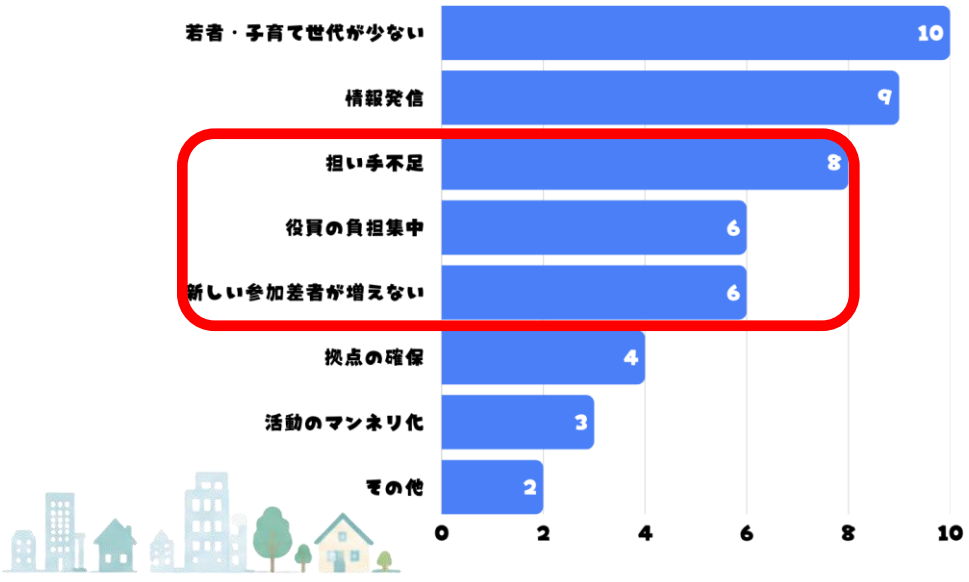
後藤 柊人(イケメン)
矢田部 建佑｜2026.8.30(Sun.)
＠ほしぞら公民館

1



2

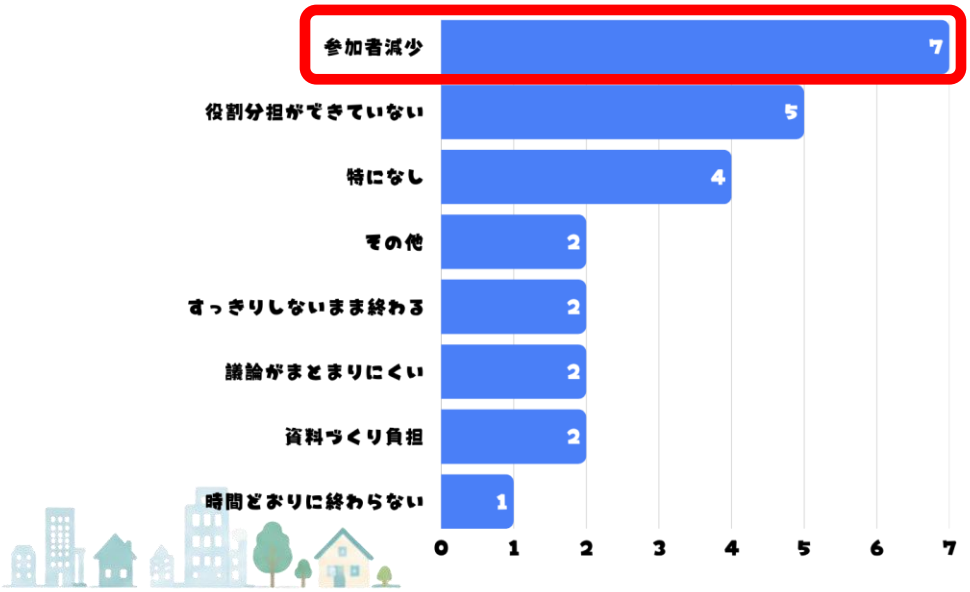
いま、こんな課題があります。（事前アンケートより）





3

会議運営で感じている課題





4

ちょびっとワーク

あなたが地域に関わるきっかけをくれたのは誰？

関わり始めたときのことを
思い出してみましょう



思い出すポイント

・どんな人に声をかけられましたか？
・どんな言葉で誘われましたか？
・なぜ、行ってみようとおもいましたか？

5

「誘い手」って？



竹内 裕二 先生(提唱)

地域活性化論・地域経済論・
まちづくり論とする研究者

地域活動に関わり始めた人の
きっかけの大半は
“人から誘われたから”

「誘い手」を意識することが、
地域のつながりを広げる第一歩になります。



6

「誘い手」って？

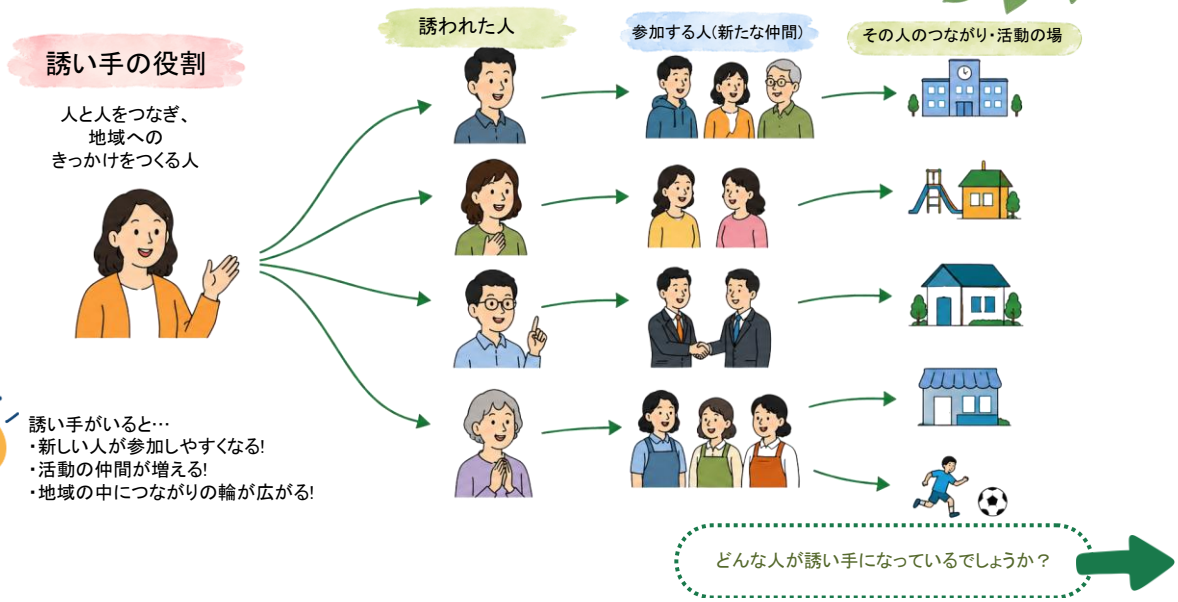
参加者を増やすには”誘い手”を育成することが重要です



”誘い手”が増えることで参加の入り口そのものが増えていきます
なので、”誘い手”の育成が参加者を広げる最も現実的な戦略です

7

誘い手から、つながりは広がる



8

「誘い手」はどんな特徴がある人？

「一緒にやろう」と、参加の入口をつくる人

声をかける　興味・得意に気づく　背中を押す　活動と人をつなぐ

地域の中に、
そんな行動をしている人はいませんか？

9

こんな「誘い手」の例

～洋美課長(まちづくり協働推進課)の場合～

①入口を低くする



②話をよく聴く(傾聴)



③その後も気にかける



④自分も一緒に動く



⑤明るく、声をかけやすい



“この人に誘われたら、ちょっと行ってみようかな”と思える人が、
地域の中に必ずいます。ちょっと強引な人(ポジティブ)なイメージ。

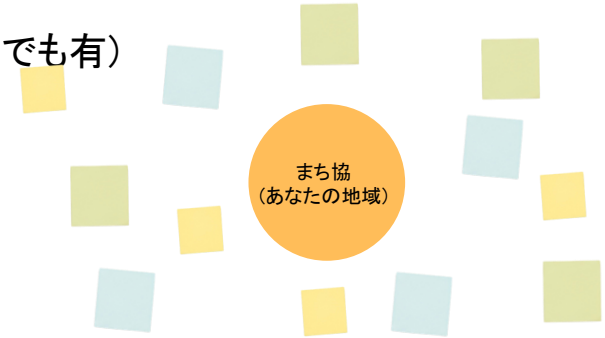
10

ワーク

地域のつながりを見える化しよう!

①書き出し　5分
付箋に書くこと
・属性
・名前(仮の名前、ニックネームとかでも有)
・どんな人(一言)

②属性とつながりまとめ　10分
＊出し切ったら
属性で付箋をまとめてみよう!!

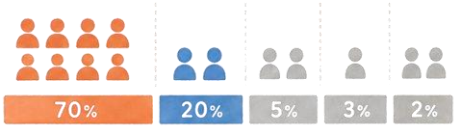


11

誘い手が偏ると、声が届く先も偏る

偏りが多きい例

一部のタイプに集中





届く先も同じような層
に偏りやすい

多様な誘い手

いろんなタイプがいる





いろんな世代・立場に
声が届きやすい

仲間が増えないのではなく、まだ届いてないだけかもしれない。

12

「誘い手」を広げるためにできること



地域に関わっている人それぞれが、
得意な範囲で”誘い手”になれるよう、
会長が意識して声をかけ、役割を認める
ことが必要です

会長がひとりで集めるのではなく、
地域のみんながすこしずつ”誘い手”になれる場をつくる

13

誘い手を広げるための4つの実践

やさしく声をかける

このひとなら声を掛けられそうという役割を無理のない形でお願いする

役割を認める

人をつないでくれる行動も、大切な役割であることを伝える

誘いっぱなしにしない

誘った人と一緒に来る、紹介する、寄り添う

考え方を広める

誘い手という考え方を共有し、地域のみんなで仲間を広げていく

14